

T20250731_01_DellOro

[クラウド](#)プロバイダ、2029 年に光トランスポート市場を 190 億ドルに押し上げる

調査会社 Dell'Oro Group が新たに発表した予測レポートによると、光トランスポート市場は 2024 年に 9% 減少した後、2025 年に成長に戻ると予測されている。供給過剰とマクロ経済状況の悪化による急激な減少を受けて、光トランスポート市場は今後 5 年間で年平均 5%で成長し、2029 年までに 190 億ドルに達すると予測されている。

「建設中の新しい AI データセンタをすべて相互接続する時期が来たと予想している」と、Dell'Oro Group の VP Jimmy Yu はコメントしている。「データセンタの相互接続は、クラウドプロバイダからの支出の増加により、市場全体の 2 倍の速度で成長すると予測している。DCI 用の機器の直接購入には、IPoDWDM 用の ZR/ZR+ 光学系、トランスポート用の光回線システム、高性能、長距離の地上および海底伝送用の DWDM システムが含まれる」と Yu は付け加えた。

光トランスポートの 5 年間の 2025 年 7 月予測レポートのその他のハイライト:

- データセンタ相互接続(DCI)の多くは、メトロアプリケーションで IPoDWDM に移行すると予測されているが、DCI 向け DWDM 長距離は、クラウドプロバイダによって推進され、5 年間の複合年間成長率(CAGR)15%で成長すると予想されている。
- ルータおよび Ethernet スイッチ(IPoDWDM)に使用される ZR/ZR+ 光プラグの収益は、年平均 20%で成長すると予測されており、5 年間の予測期間中に光トランスポート市場の 12%近くのシェアに貢献する。
- WDM システムをサブシステムに分解することは、クラウド プロバ

イダ間で引き続き人気のある選択肢であり、通信サービス プロバイダによる採用が増えると予想される。過去 10 年間、ほとんどの成長はトランスポンダユニットの需要によって推進された。今後 5 年間で、ZR/ZR+光学系および光回線システム(OLS)の需要が高まると予想される。